

## 自己点検自己評価

【評価基準】 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

### I. 教育目標・教育理念

評価項目	R3年度 評価	R4年度 評価
1. 理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特徴が明確になっているか）	4	4
2. 学校における職業教育の特色は何か	4	4
3. 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	4
4. 学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	4
5. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	4
平均	4	4

### II 学校運営

評価項目	R3年度 評価	R4年度 評価
1. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
2. 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	4
3. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	4
4. 人事・給与に関する制度は整備されているか	4	4
5. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4
6. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4
7. 教育活動等に関する情報公開が適正にされているか	4	4
8. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	3
平均	3.9	3.9

### III.教育活動

評価項目	R3年度 評価	R4年度 評価
1. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4
2. 教育理念、人材育成像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4
3. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	3
5. 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4
6. 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	4
7. 授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4
8. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4
9. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4
10. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	3

1 1. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	4
1 2. 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	4
1 3. 関係分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	4
1 4. 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	4
1 5. 教員の研究活動を保障(時間的・財政的・環境的)しているか	4	4
1 6. 教員の研究活動を助言・検討する体制を整えているか	4	4
平均	3.8	3.9

#### IV 学修成果

評価項目	R3 年度 評価	R4 年度 評価
1. 就職率の向上が図られているか	4	4
2. 資格取得率の向上が図られているか	4	<u>3</u>
3. 退学率の低減が図られているか	4	<u>3</u>
4. 卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか	3	3
5. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4	<u>3</u>
平均	3.8	<u>3.2</u>

#### V 学生支援

評価項目	R3 年度 評価	R4 年度 評価
1. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
2. 学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
3. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4
4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
6. 学生の生活環境の支援は行われているか	4	4
7. 保護者と適切に連携しているか	4	4
8. 卒業生への支援体制はあるか	4	4
9. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	3
10. 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4	<u>3</u>
平均	3.9	<u>3.8</u>

#### VI 教育環境

評価項目	R3 年度 評価	R4 年度 評価
1. 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
2. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
3. 防災に対する体制は整備されているか	4	<u>3</u>
平均	4	<u>3.6</u>

## VII 学生の受け入れ募集

評価項目	R3 年度 評価	R4 年度 評価
1. 学生募集活動は、適正に行われているか	4	4
2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4
3. 学納金は妥当なものとなっているか	3	3
平均	3.7	3.7

## VIII 財務

評価項目	R3 年度 評価	R4 年度 評価
1. 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	3	3
2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
3. 財政について会計監査が適正に行われているか	4	4
4. 財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
平均	3.8	3.8

## IX 法令等の遵守

評価項目	R3 年度 評価	R4 年度 評価
1. 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4
3. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	3
4. 自己評価結果を公開しているか	4	4
5. 学生や保護者が自由に意見を言える体制が整備されているか	4	4
平均	3.8	3.8

## X 社会貢献・地域貢献

評価項目	R3 年度 評価	R4 年度 評価
1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
2. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4
3. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3
平均	4	<u>3.6</u>

## XI 国際交流（必要性に応じて）

評価項目	R3 年度 評価	R4 年度 評価
1. 留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3	3
2. 留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3	3
3. 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3	3
4. 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3	3
平均	3	3

## 令和4年度重点目標 評価

### 1. 質の高い教育実践

- 1) 看護師国家試験合格 100%を目指す
- 2) 学生の臨床判断力、看護実践力の向上を目指す
- 3) 豊かな人間性と倫理観を涵養する
- 4) 教員の教育力の向上

### 【評価】

#### 1) について

1年生の国家試験対策は、ガイダンス、業者による解剖生理・病態生理の基礎力確認テスト等を実施した。2年生は、業者模試を3回実施し、模試の振り返りの方法も含めて指導を実施した。また、2月は模試結果を踏まえて、返却時に個別面接を実施している。早期から国家試験に向けての意識を持てるよう、取り組んだ。3年生全員、39名に対しチューター制を導入し、1年間取り組んだ。実習と国家試験の学習を平行して行えない学生は、実習終了後からの国家試験取り組みになり、国家試験の間際でも安心できる点数を取ることが難しい状況であった。

早い時期からの国家試験の意識付け、実習と関連させた国家試験への取り組みが、引き続きの課題である。

#### 2) について

1年次より、講義や教科外活動参加後に文章を記載する機会を設け、学生の表現力を高めるように取り組んだ。また、実習終了時は、クール毎に実習の学びを記載している。日々、自己の考えを文章化する、意識した取り組みを行った。また、技術教育においては、学生の判断力を養うために、デモンストレーションにこだわることなく、学生自身が考えて判断できるように教授している。1年生は、教科外活動として、臨床判断能力を養えるよう、複合技術演習を実施予定である。

#### 3) について

新型コロナウイルス感染症の流行を配慮しつつ、規模を縮小しながら、できるだけ3学年の交流を意識して、自治会活動である、学校祭やクリスマス会を実施した。

2年生は新潟県看護学会にWebにて参加し、各自興味ある演題を視聴し、近年の看護の動向について学びを深めた。卒業記念講義は、全学年が参加し、摂食嚥下認定看護師に認知症看護について講義をしていただき、知識を深めることができた。

#### 4) について

研究授業は、全員実施を目標に取り組んだ。自校での研究授業は4名。他校教員参加の研究授業は1名実施した。他校に向けての研究授業は県内の養成所にもお知らせを送付し、計15名の参加があった。

看護教員能力開発プログラムの目標に沿って、個々の教員が自己の課題に取り組んだ。

今年度は、夏期研修会の当番校であり、昨年度より教員1人ひとりが役割を遂行し、全員で協力して運営した。

## 2. 学習環境の整備

- 1) 図書・教材の更新・整備を行う
- 2) オンライン授業に向けた環境整備
- 3) カリキュラム満足度調査の形成評価を行う(各学年末に実施)

### 【評価】

#### 1) について

10月に実施した学生による学校評価(中間評価)では、図書室の整備の要望が多かった。そのため学生図書委員会を中心に、図書室を整備した。

次年度は、同窓会から本を贈呈していただける予定なので、引き続き図書室の学習環境を整えていく。

#### 2) について

今年度は、Zoom回線を1回線増やし、Zoom2回線、Webex1回線とし、3学年がWeb対応できるように整備した。新型コロナウイルスの感染拡大時のオンライン授業、濃厚接触者の学習保証、大雪の交通障害時等に活用した。講師の来校が難しい場合、講師のフィールドとWebを繋いで講義をしていただいた。

また、密を避けるために、全学年が集まる研修、始業式や終講式は、各教室をWebで繋いで実施した。

次年度の課題としては、学内で学生がWi-Fiを使用できるように使用ルール作りを行い、有効に活用できるようにしたい。

#### 3) について

カリキュラム満足度調査は、今年度より中間評価を実施した。中間評価を分析し後期に向けて改善した。

1・2年生の後期カリキュラム満足度評価は3月に実施予定である。

## 3. 健全な学校経営

- 1) 入学定数の100%充足
- 2) 働きやすい職場環境

### 【評価】

#### 1) について

今年度は、県内全域63校、県外は長野県6校の指定校の高校訪問を実施した。令和5年度入学生は、指定校推薦、推薦入試より78%の入学生を確保することができた。しかし、A日程、B日程の応募者は、前年度の半数以下の応募者数であり、今後も推薦入試での安定した入学生の確保が必要である。

また、C日程では、大学志望者が多い35校に対し、大学共通テスト後、電話で実施を通知した。C日程は、周知されていない状況もあるため、C日程の周知方法も考えて行く。

オープンキャンパスは、年間5回実施し、合計参加人数は、146名(学生92名保護者54名)だった。またWebの参加人数は、10名だった。次年度は、引き続きホームページで周知するとともに、新たに駅にポスターを貼り、学校を知ってもらうこと、オープンキャンパスの参加を促す活動を継続して行っていく。

#### 2) について

超過勤務については、定時の退勤の促し、超過勤務の事前申請、事後確認の徹底を実施した。

平均超過勤務時間は、2時間/月であった。超過勤務については個人差があるため、各自が業務整理できることが課題である。年次休暇は、平均13.5日/人(4月～1月)であり、お互い協力しながら年次休暇が取りやすい環境である。最高取得日数19日/年 最低取得日数8.2日/年であり、全員が偏りなく10日/年以上取得できるようにすることが課題である。